令和２年度　六ツ美中部小学校　校長室だより　第３１号

いちめんのなのはな

令和３年１月１５日（金

校長　鈴　木　　誠

※愛知県に緊急事態宣言が発令（1/14～2/7）されました。
・新しい生活様式（マスク着用や手洗い、身体的距離の確保等）の徹底
・感染リスクの高い教育活動は行わない
・部活動は行わない　　などの対応をします。御理解ください。
※保護者の皆様には、これまでの御理解と御協力に感謝するとともに、検温等の健康管理や登校判断等への御協力を重ねてお願いいたします。

※今号では、２学期の様子などでお伝えできていなかったことを記します。

２学期の振り返り（終業式12/23/水にて）

○２年１組　清水さん

僕が２学期にがんばったことは二つあります。一つ目は運動会のダンスです。はじめ、先生がダンスを踊ってくれたとき、「難しいから覚えられるかな」と不安だったけど、たくさん練習したら踊れるようになりました。指先や目線、笑顔で踊ることにも気を付けました。本番は緊張したけど、楽しく踊れたのでよかったです。

二つ目はマラソン大会です。１年生のときは３位だったので今年は順位を上げて２位になるという目標を立てました。家の周りを走ったり休み時間に鬼ごっこをたくさんしたりしました。本番、初めは３位だったけど、「自分ならできる」と信じて腕をたくさん振って走りました。ゴールの前で抜かして２位になることができました。すごく嬉しかったです。３年生のマラソン大会では１位になりたいです。

３学期は縄跳び大会があります。１年生のときは出られなかったので僕にとっては今年がはじめての縄跳び大会です。前跳び、後ろ跳び、駆け足跳びのすべてでチャンピオンになりたいです。大縄跳びではみんなで力を合わせて、連続で入れるようにがんばりたいです。そのために、お家や学校でたくさん練習したいと思います。３学期もがんばります。

○４年１組　段下さん

僕が２学期にがんばったことや嬉しかったことは、委員会とマラソン大会です。委員会では二つの委員会を経験しました。前期は体育委員として、石拾い草取り集会で担当のエリアを全校のみんなに伝えられるように、大きな声で言えるようにがんばりました。僕は大きな声を出すことに自信がなかったけど、同じエリアを担当する二人が一緒に大きな声を出してくれたので、自信をもって取り組むことができました。後期代表委員としては、注意をあまりしないようにみんなをまとめることをがんばりました。コロナがはやっているので、大きな声を出さずにしようとしました。言葉ではなく表情で注意が伝わるかなあと不安に思いながらやってみると、クラスのみんなが気付いて直してくれて、すごく嬉しい気持ちになりました。クラスのみんなを心強く感じました。

二つ目のマラソン大会では、目標を決めて、それを達成できるようにがんばりました。僕の目標はめざす順位だけでなく、今までの練習の成果を発揮することでした。マラソン大会当日、僕はすごく緊張していました。でも、走り出したらその緊張がほぐれました。目標達成に向けて前の人をどんどん抜かしながらゴールまで行きました。一つ上の順位の子がラストスパートをして、僕もペースを上げたけど、最後の最後で抜くことはできませんでした。負けたけど、その子から「速かったね。負けるかと思ったよ」と言われて悔しかった一方で来年抜かしてやる！という前向きな気持ちがもてました。自分の順位のところに座って考えました。ちゃんと目標達成できたかな。絶対にできたと思いました。なぜなら、最後まで全力で走り切ってゴールまで行けたからです。

子供らの元気、丸池に昼過ぎても氷はる寒さに負けず　1/8

２学期は、みんなの力を借りてがんばれました。３学期は、自分の力でいろいろなことができるように努力したいです。

○６年２組　太田さん

今年は今までと違う２学期が始まりました。大変なこともあったけど、その中で学べることもたくさんあった２学期でした。運動会のソーラン節では「全力を尽くすことの大切さ」を学びました。はじめは振り付けを覚えられるか心配でしたが、何回も踊っていくことでどんどん覚えていくことができました。しかし、それで安心してしまい、ただ振り付けを覚えるだけで満足してしまっていた自分がいました。だけど、先生に「全力を尽くしていない」と注意されたとき、はっとしました。先生のこの一言をきっかけに、練習から常に全力で取り組み始めました。その成果もあり、当日はベストを尽くして自分でも満足のいくソーラン節を見てもらうことができました。

次に、修学旅行では「考えて行動することの大切さ」「様々な人と協力することの大切さ」を学びました。コロナウイルスの影響で「バスの中ではなるべくしゃべらない」「ずっとマスクを着けている」「密を避ける」など、たくさんの制限がありました。楽しみにしていた電車での班別行動もできなくなり残念でしたが、制限がかかっている代わりに、今までにないことを先生方や多くの人たちの協力のおかげで体験することができました。特に嬉しかったのは芸術鑑賞会です。校歌をオペラ調にして歌ってくださったことに感動しました。この時期だからこそたくさんの人たちが今できることを考えてくれたおかげで、最高の修学旅行となりました。

この二つの経験から、「全力を尽くすことの大切さ」「考えて行動することの大切さ」「様々な人と協力することの大切さ」を学びました。３学期はこれらのことを活かして、残りの小学校生活を考えて行動し、友達と協力して、全力で取り組んでいきたいと思います。

租税教室

- ６年生　社会科　１２月２１日（月）-

６年生が岡崎法人会より講師をお招きして、租税教室を受講しました。社会科で税の仕組みなどについて勉強している子供たちですが、その意義をさらに深く理解できたようです。

学校を一つ作るのに必要な税金（約１６億円程だそうです）でどんなことをするかと問われ、６年生の子供たちは「医療施設の充実」「バリアフリー化」「環境保全」「国債の返済」などと答えたそうです。講師の先生が、その思いの素晴らしさに感激してくださいました。

第2回学校評議員会 - １２月１１日（金）-

評議員の皆様には御多用の中、御来校いただき、これまでの教育実践についてお聞きいただくとともに、子供たちの授業の様子を御覧いただきました。頂戴した御意見の要約を以下に示します。そして、今後の学校運営へ反映させるように努めます。

・学校が明るい雰囲気。素直で元気な姿にほっとした。いろいろな制限があるなか、図工や体育などできることを考えてやっていただいている。
・子供と先生のキャッチボールのある授業を見て、日常が戻ってきていると感じた。消毒や換気の配慮を今後も続けていってほしい。
・楽しい授業や、いろいろな教材を見ることができた。高学年はタブレットの使い方のルールを自分たちで考えているとのこと。守れなかったときに考え直すことも学びになる。
・朝の挨拶の元気さが今一つ。相手の目を見てできるとさらによい。
・教科をまたいで実生活と結び付けた授業がよい。楽しさから学びが生まれると感じた。
・学校で感染の対策をしっかり取り組んでいるが、家庭からの感染があることも予想される。もしそうなっても誹謗や中傷の対象にならない配慮をしてもらいたい。